

Ⅲ. 平成 28、29 年の死亡概要

1. 富山県のがんの死亡の概要

富山県においてがんを原因として死亡した者は、平成 28 年は男性 2,011 人、女性 1,471 人、合計 3,482 人であり、平成 29 年は男性 2,083 人、女性 1,483 人、合計 3,566 人であった。部位別の死亡数は、男性は肺がんに続き、胃、大腸（結腸・直腸）、膵臓、肝臓が多く、女性は、大腸（結腸・直腸）に続き、胃、肺、膵臓、乳房が多い。

図 10-1 部位内訳 (H28 年、表 9 から作成)

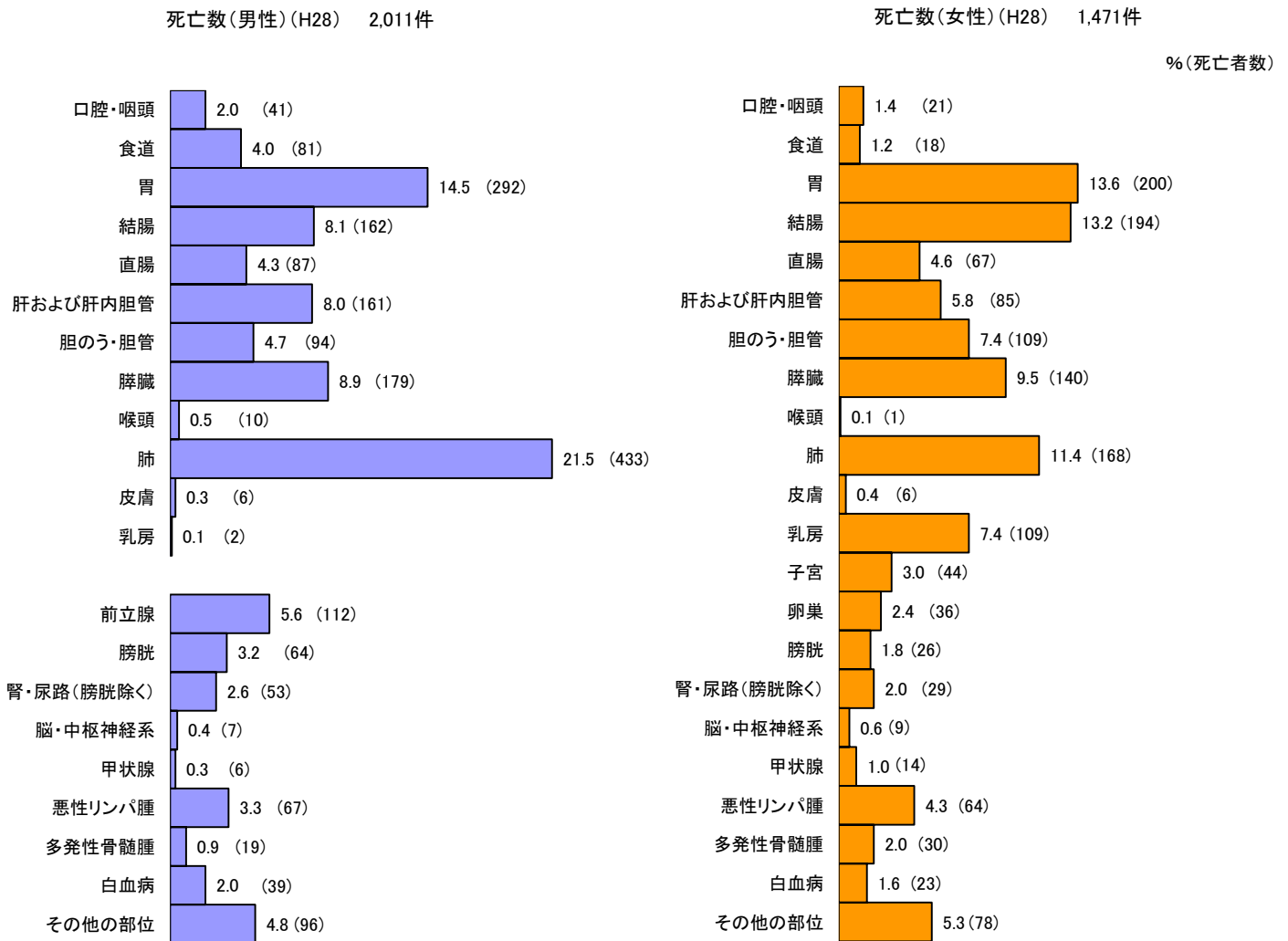
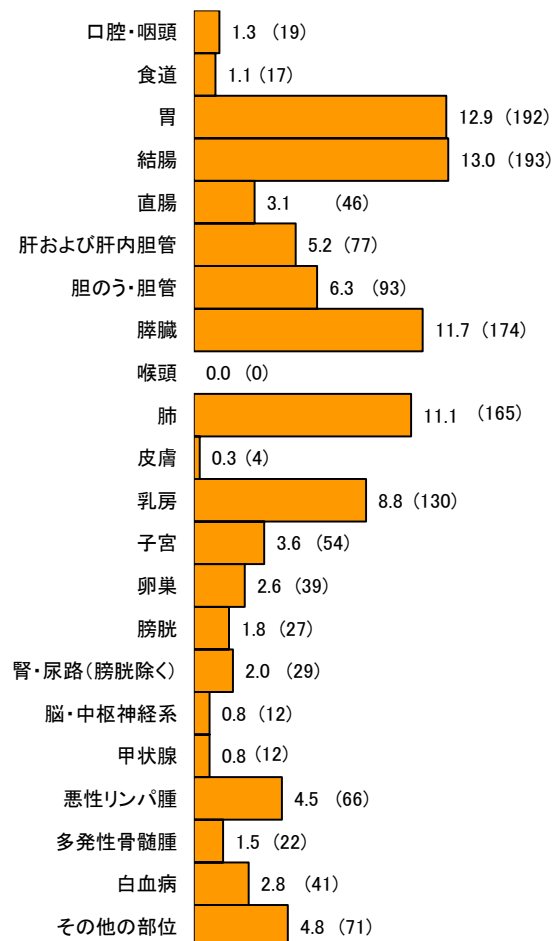
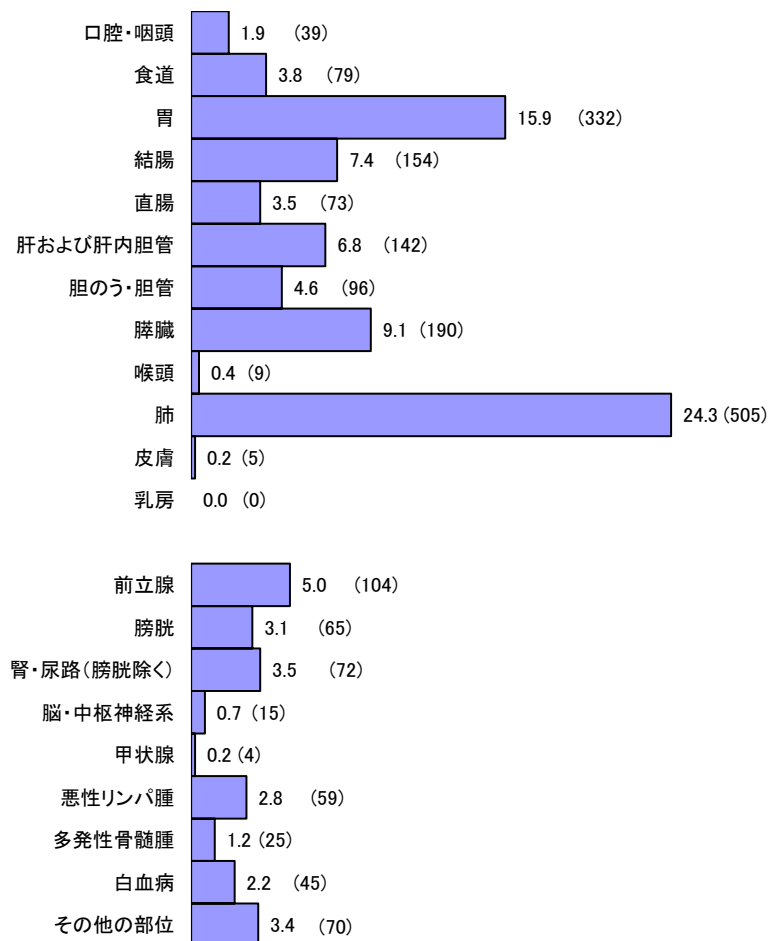


図 10-2 部位内訳 (H29 年、表 9 から作成)

死亡数(男性)(H29) 2,083件

死亡数(女性)(H29) 1,483件

% (死亡者数)



2. 年齢別に見たがんの死亡

富山県で平成28年および29年にがんで死亡した者のうち、男女とも約9割が65歳以上であった（図11）。部位別年齢階級別死亡率では、ほとんどの部位において、年齢が高くなると罹患しやすくなるため、年齢とともにがんによる死亡率も高くなっている。また、各年齢階級別死亡率は、男性のほうが女性よりも高い傾向がみられる（図12）。

図11-1 年齢内訳（H28年、表10から作成）

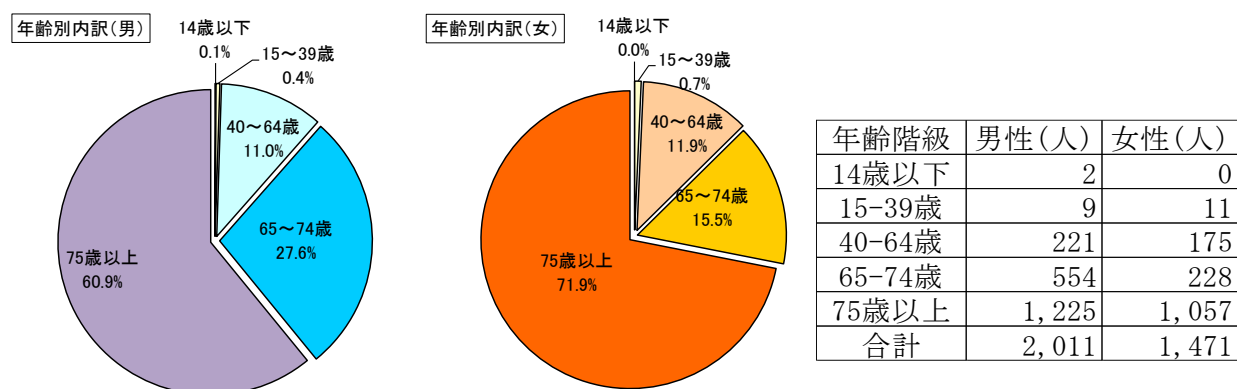


図11-2 年齢内訳（H29年、表10から作成）

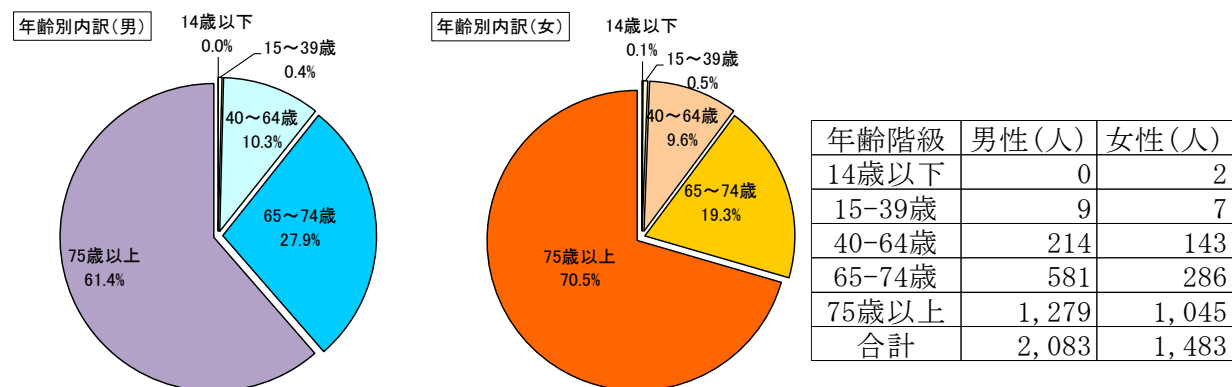
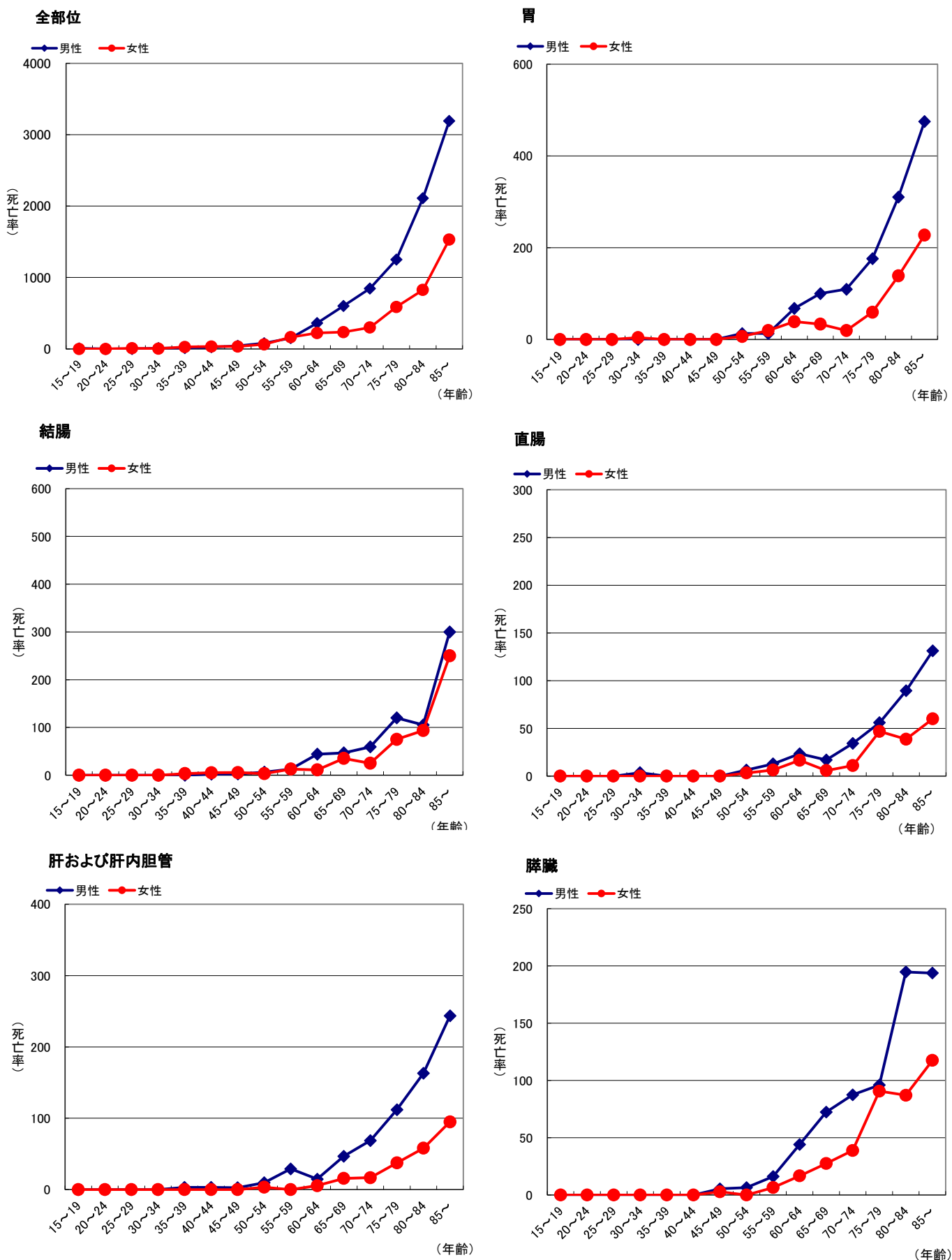
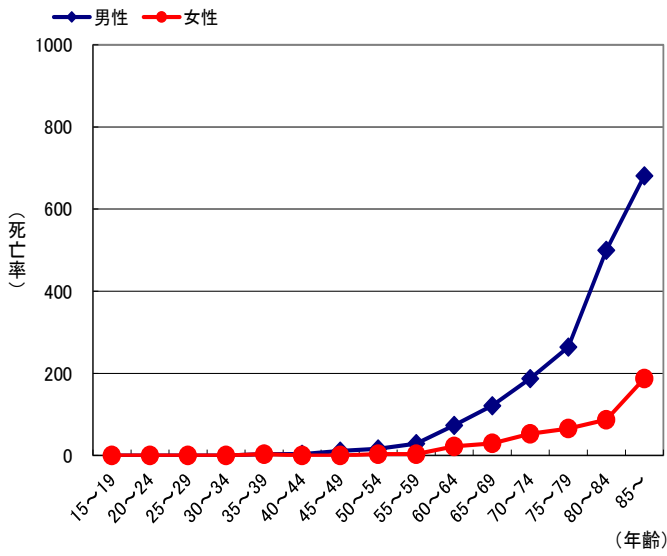


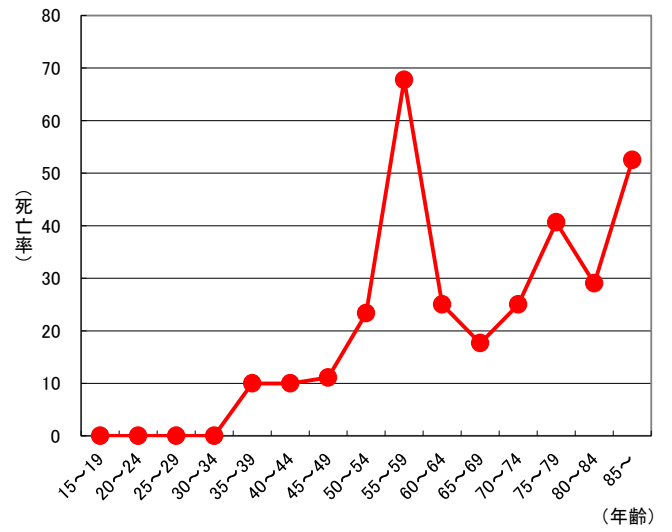
図 12-1 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (H28 年、表 11-2 から作成)



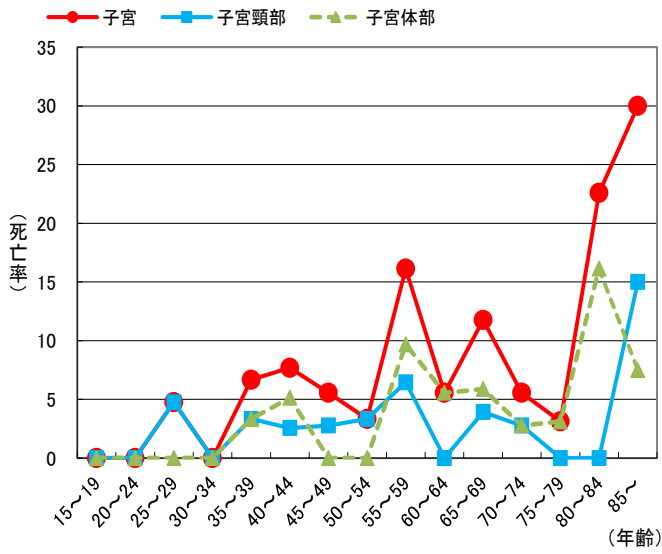
肺



乳房(女性)



子宮



前立腺・卵巣

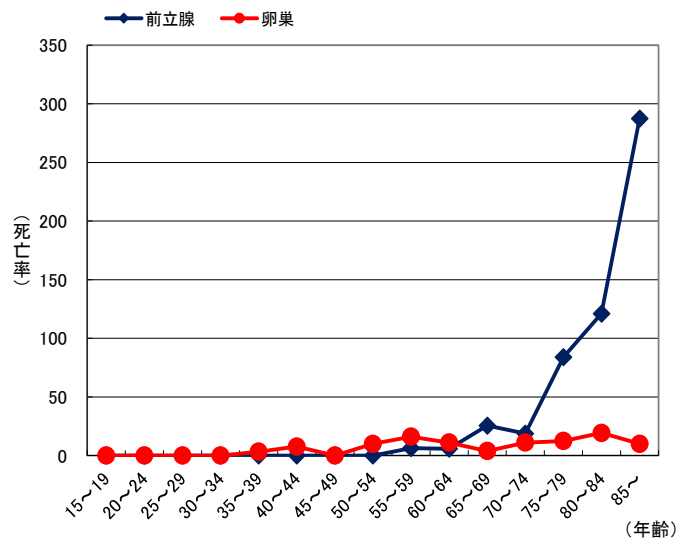
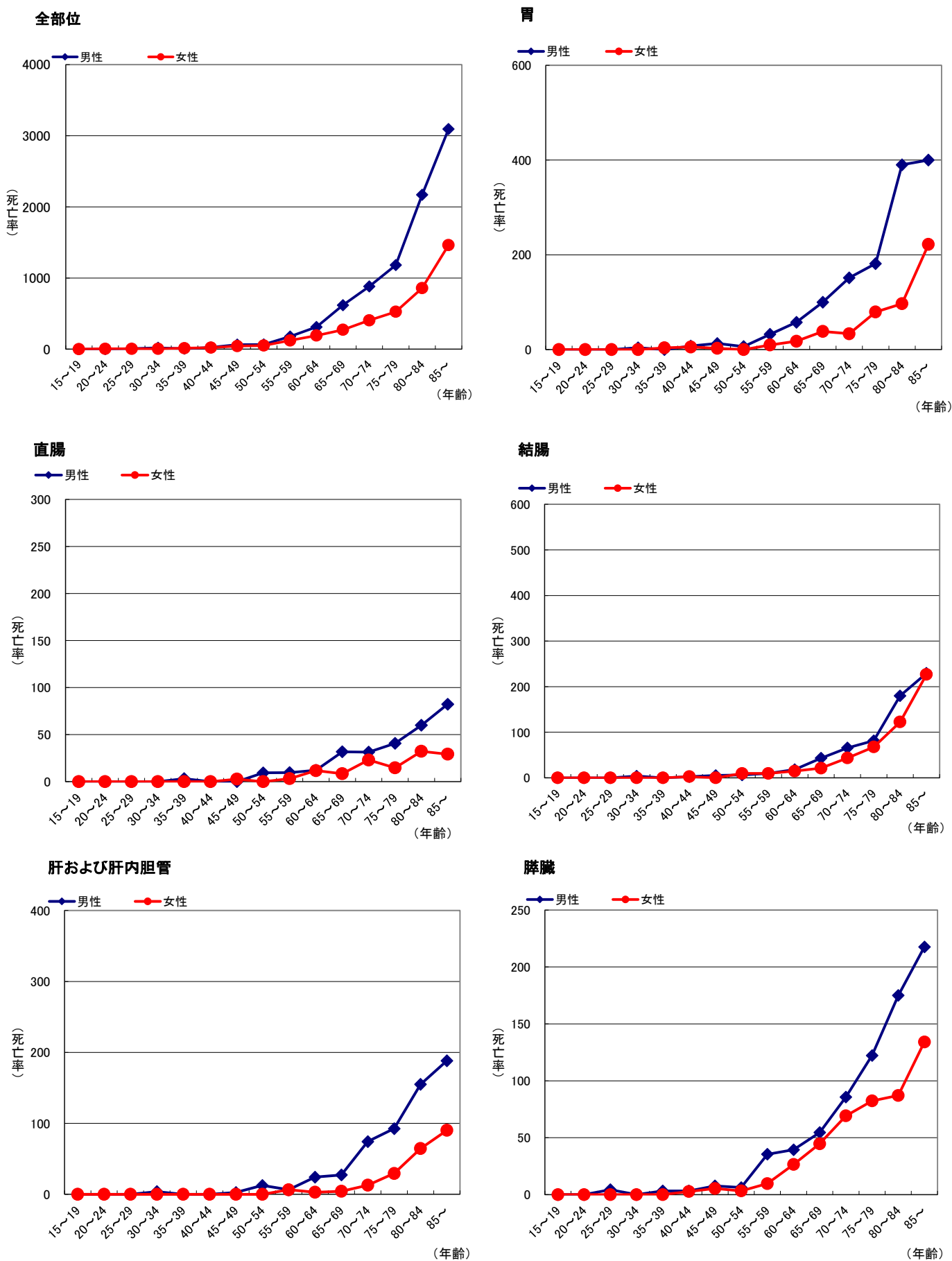
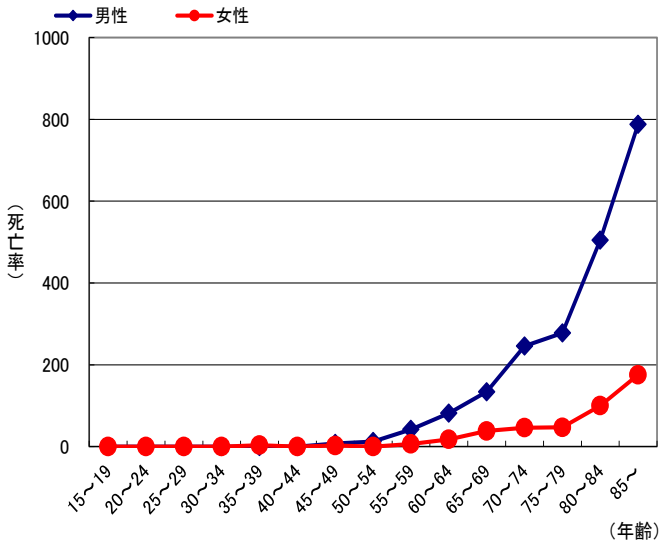


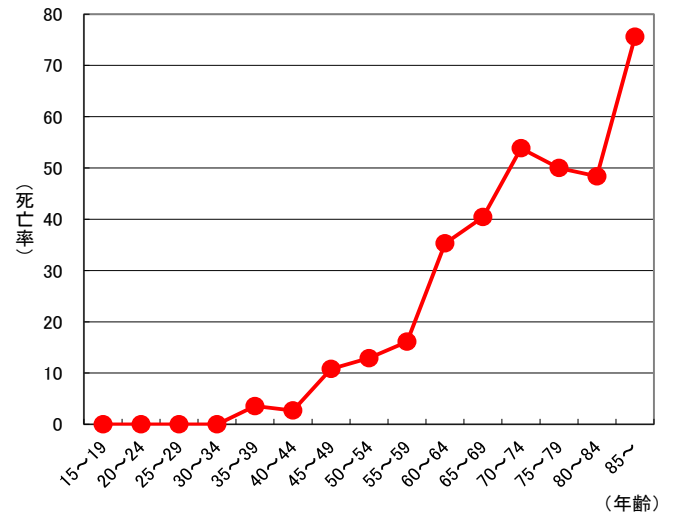
図 12-2 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (H29 年、表 11-2 から作成)



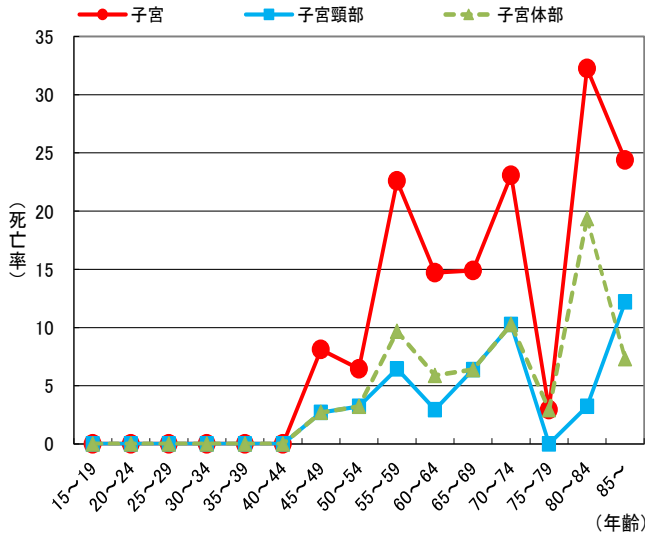
肺



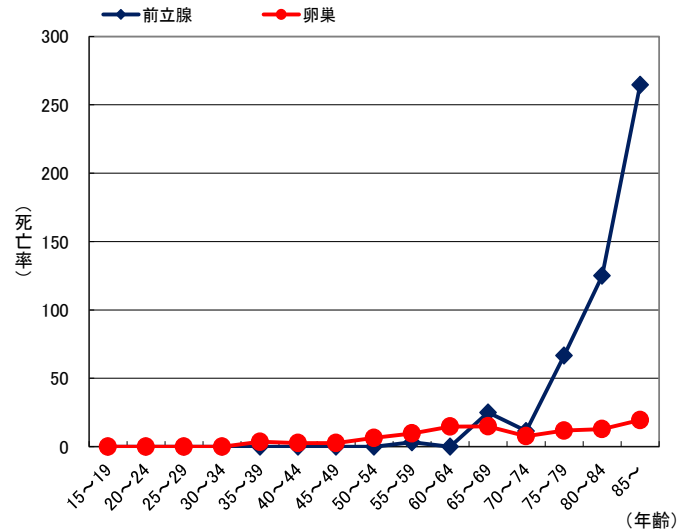
乳房(女性)



子宮



前立腺・卵巣



3. 富山県のがん死亡の特徴

平成 28 年および 29 年の本県と全国の粗死亡率を比較すると、調査年による変動はあるものの、胃、大腸（H29 男性を除く）、悪性リンパ腫が男女ともに全国値よりも高い。一方、女性の肺は全国値よりも低い（図 13）。

年齢調整死亡率を比較すると、男女共に胃、女性の悪性リンパ腫が全国値よりも高い。一方、男女共に肺（H29 男性を除く）、女性の乳房、子宮は、全国値よりも低い（図 14）。

図 13-1 部位別粗死亡率：人口 10 万対（H28 年、表 9 から作成）

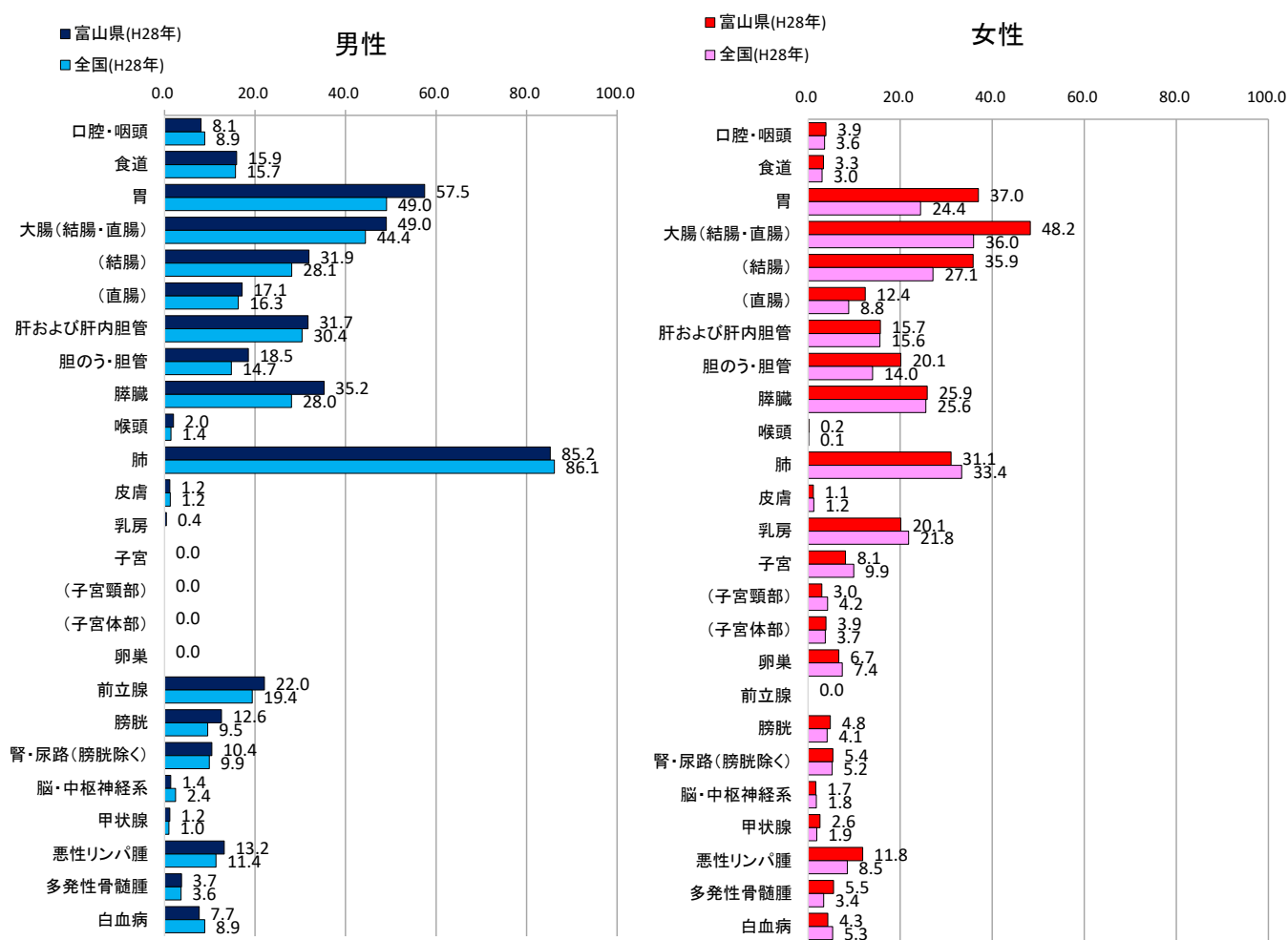


図 13-2 部位別粗死亡率：人口 10 万対 (H29 年、表 9 から作成)

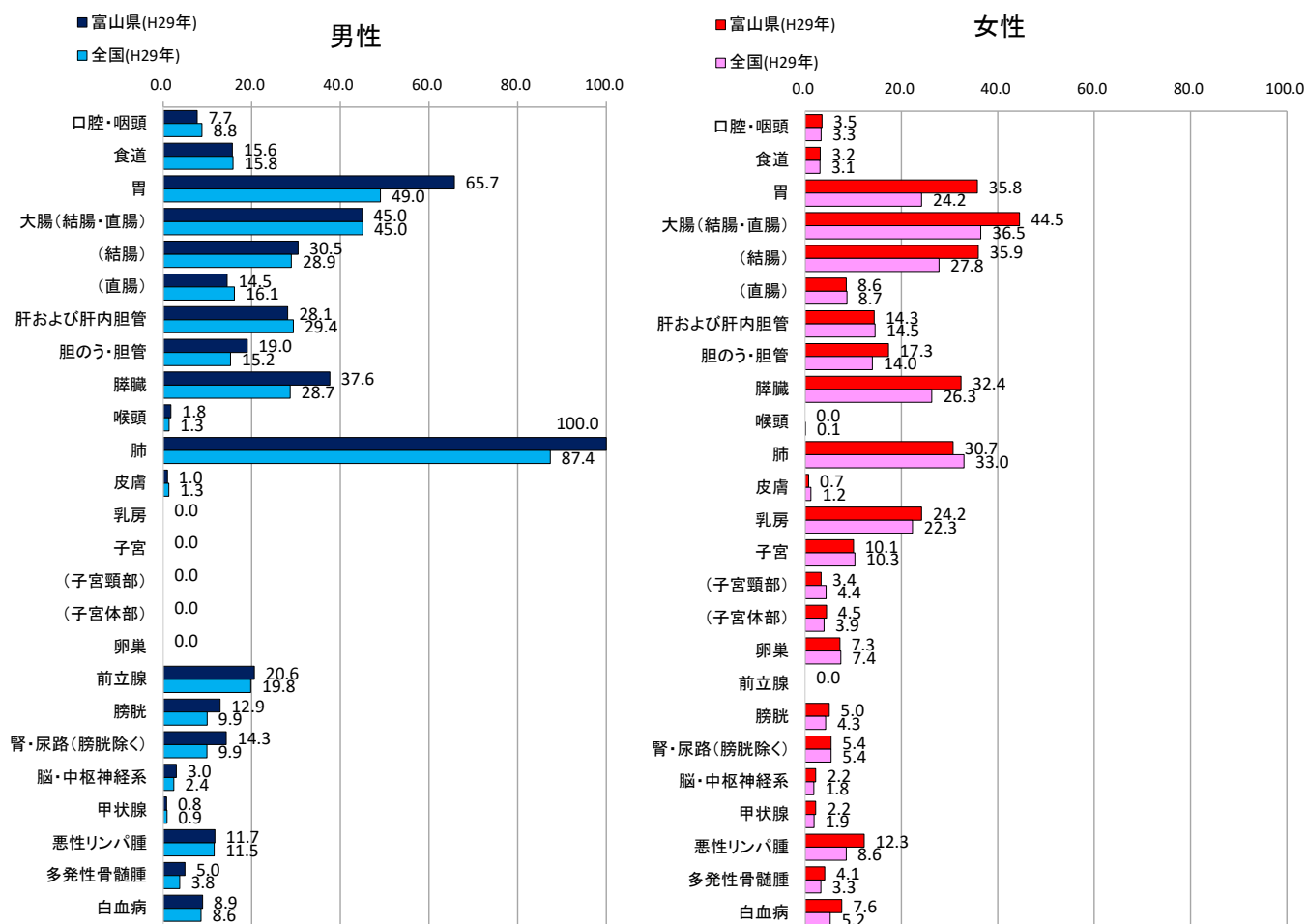


図 14-1 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（H28 年、表 9 から作成）

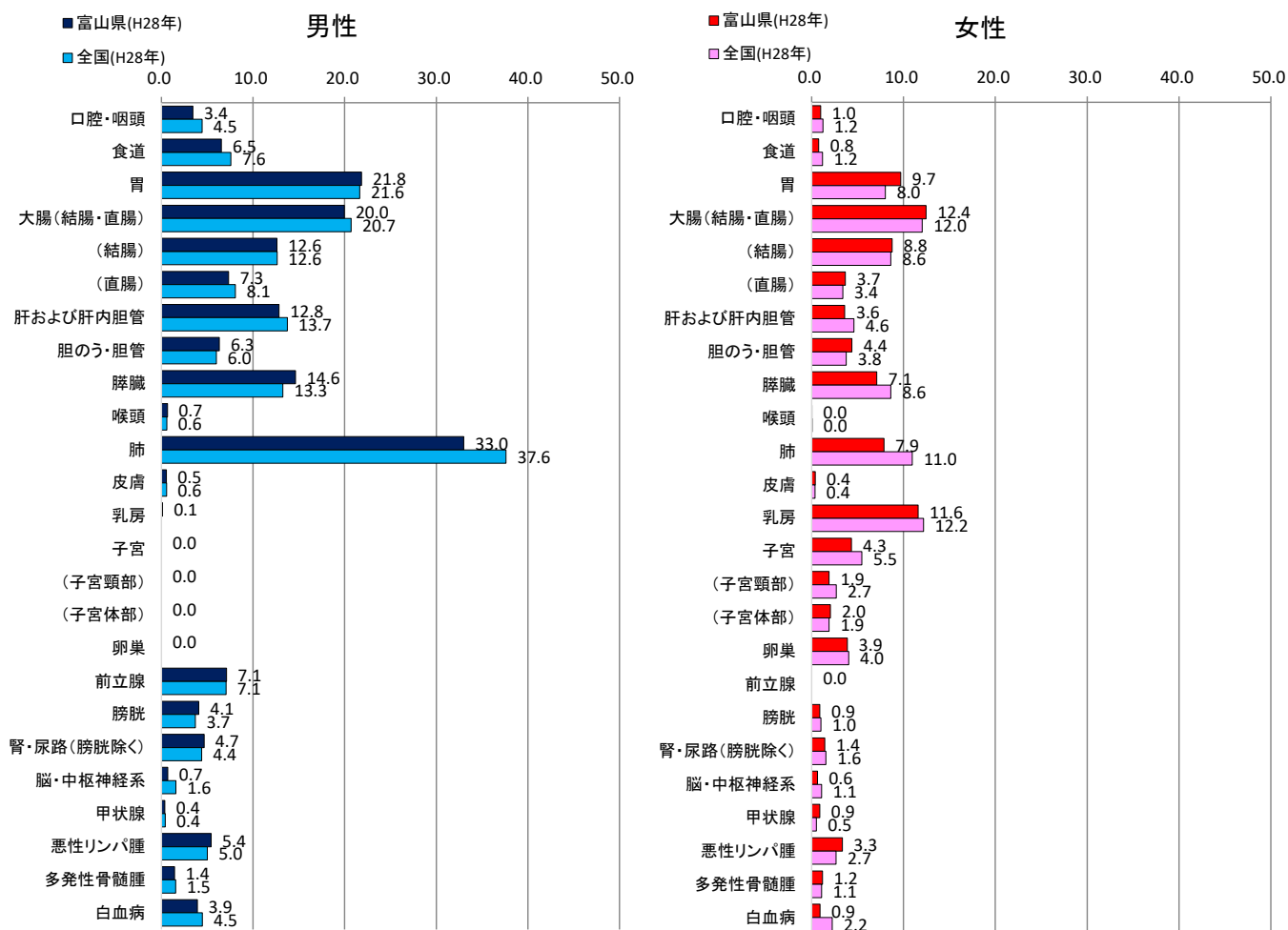


図 14-2 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（H29 年、表 9 から作成）

